



将棋に理解が深かった徳川家康



### 家康、秀忠の庇護

慶長八年（一六〇三年）に征夷大將軍として江戸幕府を開いた徳川家康は、同十年には子の秀忠に將軍職を譲り、駿府（現在の静岡市）に移り住んだ。家康は将棋と囲碁に深い関心を示し、京都に住んでいた宗桂と、将棋も実力者として知られた本因坊算砂らを江戸城や駿府城に招き、いわゆる「御前将棋」を指させ、その地位向上を図った。

同十七年（一六一二年）二月十三日には、幕府から宗桂、算砂ら八名に俸禄（現在の給与）が支給される。宗桂、算砂、利賢は、その中でも高位の「五十石五人扶持」を賜った。『大日本史料』第十二編之一には、「碁所雜記」から次のように引用されている。（文中の「権現様」は家康のこと）

慶長十七壬子年、從權現様被下置候、御切米御書出シ之寫、

碁打衆、將基指衆、御扶持方給候事、

一 五十石五人扶持

一 同斷

一 同斷

一 五十拾石

一 貳拾石

一 貳拾石

一 三十拾石

一 貳拾石

本因坊

利賢

宗桂

道碩

春知

仙重

六藏

算碩

御切米合貳百九拾石

御扶持方イニ合 拾五人扶持

右、亥年分より、毎年京升を以相渡、彼衆手形を取置、江戸御勘定に可被相立候、以上、

壬子二月十三日

米清右團

板伊州團

大石州團

青圖書團

土大炊團

鈴木左馬之助殿

杉田九郎兵衛殿

この結果、宗桂は将棋家元として正式に認められ、将棋所を唱える。名人制度はここから始まり、後の将棋所が一世に一人だけの世襲名人を名乗るようになるのである。

家康は慶長十九年（一六一四年）の大坂冬の陣、翌年の大坂夏の陣で豊臣家を滅ぼし、天下を統一したが、翌元和二年（一六一六年）に薨去（こうきよ）した。二代将軍秀忠は、家康と同様に自ら将棋を指すほどの愛好家だった。

大橋宗桂は寛永十一年（一六三四年）三月に八十歳で亡くなり、京都の叡昌山・本法寺に葬られた。その後、篤志家により伏見区にある深草山・宝塔寺の塔頭靈光寺にも駒形墓碑が建てられた。

宗桂の嫡子宗古が大橋家を継ぎ、二世名人を襲位する。宗古は将棋の禁止手の規則を初めて成文化したことで知られる。翌十二年には大橋分家、伊藤家が創設され、いわゆる将棋三家が確立するのである。

徳川幕府が慶応四年（一八六八年）に滅亡し、扶持を失った将棋家元は、苦難の道を歩んだ。十二世名人の小野五平からは家元でなく、民間出身の名人になる。

大正十年（一九二一年）に十三世名人を襲位した関根金次郎は、昭和十年（一九三五年）に三百年以上続いた世襲名人制を廃し、実力による短期名人戦を開始する英断を下した。歴史と伝統の上に立つ名人制は、先人の努力と、新聞社の方々をはじめ数多くの後援者のご尽力により、平成二十四年（二〇一二年）にちょうど四百年を迎える。



初代名人・大橋宗桂

# 歴代名人一覽

※十三世名人までは世襲制。十四世名人以降は、名人位通算5期獲得で永世名人の資格を得る

	氏名	在位(年)	襲位年齢(歳)・備考	
一世	大橋 宗桂 (初代)	1612~1634 (慶長17~)	58歳・大橋本家	
二世	大橋 宗古 (二代)	1634~1654 (寛永11~)	59歳・大橋本家	
三世	伊藤 宗看 (初代)	1654~1691 (承応3~)	37歳	
四世	大橋 宗桂 (五代)	1691~1713 (元禄4~)	57歳・大橋本家	
五世	伊藤 宗印 (二代)	1713~1723 (正徳3~)	不明	
六世	大橋 宗与 (三代)	1723~1728 (享保8~)	76歳・大橋分家	
七世	伊藤 宗看 (三代)	1728~1761 (享保13~宝暦11)	23歳	
八世	大橋 宗桂 (九代)	1789~1799 (寛政元~)	名人空位期間あり 46歳・大橋本家	
九世	大橋 宗英 (六代)	1799~1809 (寛政11~文化6)	44歳・大橋分家	
十世	伊藤 宗看 (六代)	1825~1843 (文政8~天保14)	名人空位期間あり 58歳	
十一世	伊藤 宗印 (八代)	1879~1893 (明治12~26)	名人空位期間あり 54歳	
十二世	小野 五平	1898~1921 (明治31~)	名人空位期間あり 68歳	
十三世	関根金次郎	1921~1937 (大正10~)	54歳	
	氏名	名人獲得年	期数	永世資格獲得年・年齢(満) 襲位年
十四世	木村 義雄	1937 (昭和12)	8	1945(昭和20→40歳)・ 1952(昭和27)
十五世	大山 康晴	1952 (昭和27)	18	1956(昭和31→33歳)・ 1976(昭和51→53歳)
十六世	中原 誠	1972 (昭和47)	15	1976(昭和51→28歳)・ 2007(平成19→60歳)
十七世	谷川 浩司	1983 (昭和58)	5	1997(平成9→35歳) 襲位は原則引退後
十八世	森内 俊之	2002 (平成14)	6	2007(平成19→36歳) 襲位は原則引退後
十九世	羽生 善治	1994 (平成6)	7	2008(平成20→37歳) 襲位は原則引退後
期	氏名	名人獲得年	期数	名人獲得年齢(満)
6、7	塚田 正夫	1947 (昭和22)	2	32歳
16、17	升田 幸三	1957 (昭和32)	2	39歳
40	加藤一二三	1982 (昭和57)	1	42歳
51	米長 邦雄	1993 (平成5)	1	49歳
56、57	佐藤 康光	1998 (平成10)	2	28歳
58、59	丸山 忠久	2000 (平成12)	2	29歳